

グンゼラブアース倶楽部

2022年度 活動報告



明日をもっと、**こ**こちよく

GUNZE



いつもラブアース倶楽部活動にご協力いただき、ありがとうございます。

国連SDGs、ESG、サプライチェーン中の人権尊重等が世界的に標榜されるようになり、企業には、利益を生み出すだけでなく、より良い社会づくりに貢献することが求められるようになりました。

「グンゼ」が「郡是」として設立された由縁を再度思い出しながら、ラブアース倶楽部も、あらゆる人が生きやすい社会を応援していきます。

2023年 6月

代表幹事

吉鹿 央子



活動報告

2022年 活動内容 / 決算・監査報告 / 支援先団体について

P2

支援先紹介

特定非営利活動法人 AMDA

認定NPO法人 J.POSH (日本乳がんピンクリボン運動)

認定特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル

一般財団法人 みらいこども財団

公益財団法人 Save Earth Foundation

認定特定非営利活動法人 JUON(樹恩) NETWORK

P4

活動報告



「グンゼラブアース倶楽部」はグンゼの創業の精神に基づき、新しい制度として創立110周年にあたる2006年4月に設立されました。今後も会員の皆さまからの寄付(100円/1口～ 給与・賞与からの天引き)と会社のマッチングギフトを原資とし、「持続可能な社会の形成」のために活動しているNPO団体などへの支援を続けていきます。

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会員募集	A会員	←-----→										
	B会員			←-----→								
実施項目	会計監査			会報発行	運営委員会 支援先選定			支援				
												会計確認
								-----→				

収支計算書 (2022年4年1日から2023年3月31日)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	258,376	支援先への寄付	443,390
当期収入			
活動資金(A会員)	680,600	寄付金振込手数料	1,100
活動資金(B会員・賛助会員)	6,000	残高証明証手数料	1,100
預金利息	3		
当期収入計	686,603	支出計	445,590
収入計	944,979	※次期繰越金	499,389

貸借対照表 (2023年3月31日)

(単位:円)

資産の部		負債・剰余金の部	
科目	金額	科目	金額
預け金	499,389		
資産計	499,389	次期繰越金	499,389
		負債・剰余金計	499,389

2022年度 グンゼラブアース倶楽部 会計監査報告

グンゼラブアース倶楽部会則25条に基づき2022年度グンゼラブアース倶楽部の決算にあたり、会計監査を実施し、関係書類を監査した結果、決算書のとおり、その処理が適正かつ正確であったことをここに報告いたします。

監査委員

氏名 中山佳則 印

氏名 高山新 印

■支援先団体について(計6団体)

2022年度は6団体に対して合計886,780円の支援を実施いたしました。

支援先	支援回数	物品支援
AMDA	13	肌着
J.POSH	11	肌着
ブリッジフォースマイル	7	肌着
みらいこども財団	5	肌着
Save Earth Foundation	3	苗木
樹恩ネットワーク	2	苗木

本業を活かした持続可能な支援という方向性に基づき、2022年度におきましてはガンゼの事業やサービスを活用し、支援先6団体への支援を実施いたしました。会員の皆さま、誠にありがとうございます。

今後も会員の皆さまのご意見をいただきながら、よりよい支援活動ができるよう運営してまいりますので、これからも変わらぬご支援をお願いいたします

ガンゼラブアース倶楽部 事務局



■2022年度活動報告

ウクライナ人道支援活動として、ハンガリーで食料・物資支援などを継続中です。災害支援事業では、パキスタン洪水、フィリピン台風22号、インドネシアジャワ島地震、トルコ地震の被災者緊急支援活動を行いました。モンゴル、ネパールでの医療技術移転事業、インド母子保健などの健康増進事業、県内の子ども食堂支援事業、東日本復興支援事業、インドネシア有機農業、自治体・医療機関と連携した南海トラフ災害対応事前事業を実施しました。

■今後の活動予定について

国内外における災害緊急支援、ウクライナ人道支援や難民支援のほか、健康増進事業をモンゴル、ネパール、インド、カンボジアで実施します。東日本復興支援、防災や国際交流を継続するアムダ中高生会教育支援、子どもたちの社会参加と食料支援を目指す子ども食堂支援、インドネシア有機農業支援、災害に備えた備蓄と四国との連携強化とする南海トラフ災害対応事前事業も継続した活動を行う予定です。

■ゲンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

子ども食堂支援の子どもたちを対象に配布し、子どもとお母さんと一緒にサイズにあう肌着を選んで保護者も「信頼できる製品

で、ありがたい」と喜んでいました。東日本復興支援においては、ホームレス支援団体仙台夜まわりグループを通じ、震災やコロナ禍による不安定居住、不安定就労の状態に追い込まれている路上生活者、生活困窮者を対象に、肌着を配り生活に必要なものとして大変喜んでいました。

■ゲンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

毎年ご寄贈いただくゲンゼの肌着は評判で、前回受け取った肌着がとてもよく、子どもさんがゲンゼの肌着を希望されるご家庭もあると子ども食堂からうれしい報告がありました。継続したご支援の想いが伝わり、改めて厚く御礼申し上げます。

特定非営利活動法人
AMDA(アムダ)

<https://amda.or.jp>

〒700-0013

岡山県岡山市北区伊福町3-31-1

TEL 086-252-7700

AMDA



乳がん治療中ママの子育て支援



シッターサポートプログラム

乳幼児を育てながら、抗がん剤治療、あるいは放射線治療を受けられている乳がん患者さんのために、お子さんの一時保育を依頼するため等に係る費用の一部を補助致します。

治療中のお母様、そしてお子さんの双方にとって安心できる環境のもと、お母様がひとときでもゆっくりと養生できればと願っています。



「家族で湯ったり」キャンペーン'22

下記の温泉施設に
抽選で各1組

乳がん手術を受けられた方と、そのご家族に 温泉宿泊ご招待券プレゼント

応募
締切

2022年
11月10日
まで

当選発表
2022年12月中旬頃

ご希望の施設をおひとつ選び、裏面の用紙にてご応募下さい

※抽選により当選条件が異なります。ご注意ください

■2022年度活動報告

2022年度はコロナ禍の中でJ.M.Sプログラム、啓発ティッシュ配布キャンペーン、啓発活動助成金などは少し規模を縮小しましたが、シッターサポートプログラム、家族で湯ったりキャンペーンなどは例年通り続けることができました。「奨学金まなび」の受給生募集はコロナ禍特別増員として10名増やしました。また、卒業生には特別給付金5万円を支給いたしました。

■今後の活動予定について

コロナ禍も落ち着きましたが、withコロナの社会となる事はやむを得ません。そこで、私たちは乳がんの啓発活動を強化し、より多くの人々にプレストアウェアネスの周知を図り、実践いただく事により乳がんで悲しむ人を減らしたいと考えております。また、乳がん患者さんやそのご家族の支援のプログラムも引き続き行い、少しでも、助かった、救われた、楽しい事もあったと思っただけのようなピンクリボン活動を展開してまいります。

■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ご提供頂きましたメディキュアの製品は、J.POSHとご縁のある患者会さんの中から、毎年、会の規模などを考慮し、1ヶ所~3ヶ所の「患者会」さまを選んでお送りしています。どの患者会の皆さまにも大変喜んでいただいております。

■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

まだまだ、乳がん罹患者が増えている現状ですので、ピンクリボン活動は長く続ける必要があると考えております。そんな中、グンゼラブアース倶楽部様からのご支援は、多くの患者会の皆様にとって、嬉しい事の一つとなっています。このような活動をして頂ける事に深く感謝申し上げます。これからも末長いご支援をいただけますと幸いに存じます。

認定NPO法人 J.POSH
(日本乳がんピンクリボン運動)

<https://www.j-posh.com>

〒538-0043

大阪府大阪市鶴見区今津南2-6-3

TEL 06-6962-5071





北海道巣立ちプロジェクト



クリスマス会



■2022年度活動報告

新たに北海道で一人暮らし準備セミナー『巣立ちプロジェクト』を開始し、高校3年生等14人が参加してくれました。コロナ禍でオンラインで活動してきた施設退所者向けのイベントは、3年ぶりに同窓会&クリスマスイベントを実地開催し、総勢63人の参加者が久しぶりに対面での交流を楽しみ、新しいつながりもうまれました。施設職員向けのオンライン勉強会は、月1回/全11回開催し、延べ577人に参加いただきました。

■今後の活動予定について

世田谷区の「せたがやフェアスタート事業」のうち、令和5年度から新しく始まる「相談支援事業」を受託しました。関東圏では横浜に続き2カ所目となる、社会的養護経験者が気軽に立ち寄れる居場所(愛称:せたエール)を開設し、退所後の孤立を防ぎます。また、熊本県・熊本市、横浜市にて「医療連携支援」がスタートしました。年々高まる個別支援ニーズに対し、専門家の力も借りながら丁寧に対応していきます。

■ゲンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ご寄付いただいた製品は、18歳(高校卒業)で児童養護施設・里親家庭を巣立つ子どもたちに団体の寄付仲介サイト『トクン』

を通しプレゼントしました。親を頼れない環境で一人暮らしをはじめめる子どもたちは、アルバイトで貯めたお金はなるべく残しながら、家電や家具などの一式を揃える必要があります。貴社の製品のような生活必需品の贈り物は、経済的な負担軽減だけでなく、新生活に向けた応援にもなります。

■ゲンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

初めての一人暮らし、慣れない環境で不安でいっぱいの中、貴社のような企業からの応援が、子どもたちの励みになります。継続的なご支援、誠にありがとうございます。

認定特定非営利活動法人
ブリッジフォースマイル

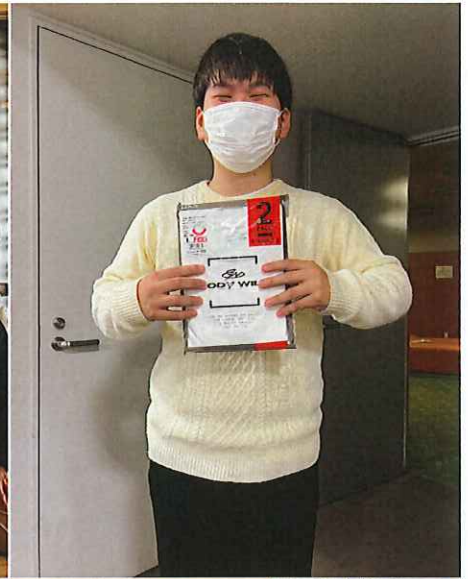
<https://www.b4s.jp>

〒107-0062

東京都港区南青山3丁目 1-30

TEL 03-6842-6766





■2022年度活動報告

2022年度はコロナ禍ではありましたが、関西・関東の児童養護施設への訪問ボランティアを開催することができました。

新たに、オンラインを活用したボランティアを、滋賀県・京都府・愛媛県・長崎県で実施しました。さらに、オンライン里親という、児童養護施設を卒園した子どもが進学した学校を卒業するまでオンラインで見守るプロジェクトをスタートしました。すこしずつですが、目標である全国の児童養護施設の子どもたちの支援の実現に近づいております。

■今後の活動予定について

2023年度は引き続き、コロナ禍において支援が中断していた児童養護施設への訪問の再開とオンラインを活用したボランティア活動の全国展開を計画しています。オンラインを活用することで、世界のどこにいても子どもたちを支援するしくみをつくり、ボランティアは世界中から募りたいと考えています。訪問先児童養護施設28施設、オンラインボランティア10施設、合わせて支援する子どもの人数1500人を目標に活動を続ける予定です。

■ゲンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ゲンゼラブアース倶楽部様から寄付いただいた商品は大阪府にある遙学園に寄付をしました。さらに商品の一部はみらいこども財団で活躍したボランティアに対してプレゼントさせていただきました。遙学園では施設を卒園するお子さんや普段あまり下着

にお金をかけることができないということで大変喜んでいただきました。ボランティアに対しては活躍したボランティアの中から5名を対象にボランティアアワードを行い仲間からの賞賛と共に商品としてプレゼントし、同じく大変喜んでもらえました。

■ゲンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

現コロナ禍では様々な状況で今まで施設の子どもを支援していた人の数も少なくなっているそうです。ゲンゼラブアース倶楽部様のように継続してご支援いただける団体があることが何より子どもたちの支え、職員様の勇気になります。

心より感謝申し上げます。

一般財団法人
みらいこども財団

<https://miraikyousou.com>

〒540-0026

大阪府大阪市中央区内本町2丁目 4-16

オフィスポート内本町 1108号 ビル

TEL 050-3530-1083





■2022年度活動報告

私たちは、森林の再生保全、森林資源の利活用、森林環境教育を行うことで、自然の恵み豊かな社会の実現を目指しています。今年は少しずつ新型コロナウイルスによる影響も緩和され、国土緑化推進機構のガイドラインに準拠した森林ボランティア活動の企画運営に努める中で、多くのボランティアの方にご参加いただきました。その成果として、2022年度は、総勢237人の方に参加いただいております。

■今後の活動予定について

現在、森林保全協定を締結している5地域7か所(約86h)の森は、それぞれ特徴があります。スギやヒノキの人工林では間伐、植樹、下草刈、枝打ち等の活動を行うことで、将来世代に良質な木材資源を残す活動を継続して行います。里山林では生態系が保全された森づくりを目指し、自然環境調査に基づき、特定外来種の抜き取り作業を行います。また、小中高を対象にした自然について学ぶ森林環境教育にも力を入れて活動していきます。

■ゲンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ご支援いただきました広葉樹の苗木計175本は、千葉県山武市と協定を締結し森林再生保全活動を行う「日向(ひゅうが)の森(千葉県山武市)」にて、2023年5月14日(日)に植樹会を開催し、

植樹いたしました。

杉の人工林から、針広混交林へ移行し、天然林に近い環境を整え、生物多様性の保全を図ることを目指しており、ゲンゼ様からの広葉樹の苗木寄贈は大変感謝しております。

■ゲンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

ご寄贈いただきました広葉樹の苗木175本をしっかりと生育させ、CO₂の吸収や固定だけでなく、生物多様性の保全が図られた森づくりを行っていきます。この度は、苗木をご寄贈いただき、本当にありがとうございました。

公益財団法人
Save Earth Foundation

<https://save-earth.or.jp>

〒144-0043

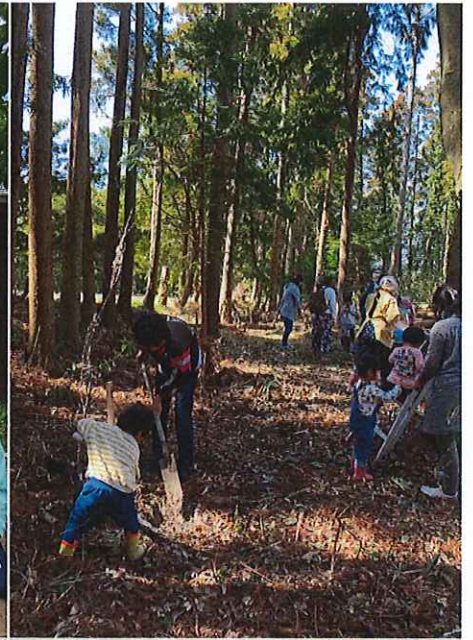
東京都大田区羽田1-1-3 大鳥居京急第一ビル

TEL 03-5737-2744



美しい地球を子どもたちに残したい

公益財団法人 Save Earth Foundation



■2022年度活動報告

過疎化の進む全国各地の農山村地域で、森林ボランティア活動「森林の楽校(もりのがっこう)」および援農ボランティア活動「田畑の楽校(はたけのがっこう)」などを行っています。2022年度はコロナ禍ではありましたが、森林の楽校は18ヶ所31回の予定に対し16ヶ所29回、田畑の楽校は4ヶ所19回の予定に対し3ヶ所14回開催することができました。

また、オンラインボランティアプログラム「雲の上 森林の楽校」も3回開催しています。

■今後の活動予定について

森林の楽校18ヶ所(秋田、福島、群馬、埼玉、千葉、東京、新潟、富山、福井、長野、岐阜、京都、兵庫、徳島、香川、高知、佐賀、長崎)33回、田畑の楽校4ヶ所(山梨、長野、三重、和歌山)22回の開催予定です。

日本の森林を守り、障害者の仕事をつくる「間伐材・国産材製『樹恩割り箸』」は、コロナ禍で利用が減りましたが、回復しつつあります。引き続き、利用を広げるためのオンラインボランティアプログラムも実施します。

■ガンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ご支援いただきましたソメイヨシノ、カワツザクラ、ヤエザクラ、

サルスベリ、コブシ、イロハモミジ、クルメツツジの計119本の苗木は、「森林の楽校」の一つである「かずさの里 森林の楽校(睦沢)」を行っている千葉県睦沢町のプレーパーク「まっ白い広場」やその周辺地域に植えさせていただきました。3月11日(土)の「まっ白い広場」の活動の日に、参加者の親子やスタッフで植樹を行いました。

■ガンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

この度は、苗木を通じて活動をご支援いただき、誠にありがとうございました。都市と農山漁村が支え合う、持続可能な社会を目指して、これからも活動を行って参りますので、応援をよろしくお願いいたします。

認定特定非営利活動法人
JUON (樹恩) NETWORK

<http://juon.or.jp/>

〒166-8532

東京都杉並区和田3-30-22 大学生協杉並会館内

TEL 03-5307-1102



JUON NETWORK



LOVEEARTH[®]

平素より、当倶楽部の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2023年度も引き続き、ご協力賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。

グンゼラブアース倶楽部は、随時新規会員を募集しております。ひとりでも多くの
方々に活動のご理解をいただくことができますようお声がけをお願いいたします。